

質の高い千切り大根を目指す！

～耕作放棄地からの再生～

(都農町 心見地区の取組)

《耕作放棄地からの再生》

心見地区では、農業者の高齢化等に伴い耕作放棄された235aの農地を、国の補助金を使い再生し、農業収入の増額が見込まれる千切り大根の加工に取り組むこととした。

質の高い千切り大根を目指すため、作付品種の選定を行う。



荒れ果てた農地



障害物（樹木等）を撤去



再生された農地

1年目の取組



作付した大根

- ・作付品種 : ノーブランドの種
この品種は、1年目の作付であることを考慮し、種が安価であるため経費節減を期待して選定した。

時期	作業内容	備考
平成22年 9月	種まき・除草剤散布	
10月	間引き・液肥	
11月	追肥・棚設置	
12月	収穫・千切り大根干し	
平成23年 1月	収穫・千切り大根干し・出荷	
2月	収穫・千切り大根干し・出荷	
3月	収穫・千切り大根干し・出荷	

～1年目を振り返り～

- ・この品種を、安価であることを理由に選定したが、曲がって成長するものが多く見られた。大根が曲がることで、洗うときに機械に負担がかかり故障の原因となり、経費がかさんだ。
また、手洗いとなってしまうことがあり作業効率も悪くなる。

～来年への課題～

- ・経費節減を理由に安価な種を選んだことで、作業効率も悪くなったことで収益が上がらなかった。安定した収穫を目指し、作付品種の選定が必要となる。

2年目の取組

・作付品種：耐病総太り

この品種は、耐病性が強くス入りも遅い品種である。成長も早く均整が取れた形に仕上がることから選定した。

時期	作業内容	備考
平成22年 9月	種まき・除草剤散布	
10月	間引き・液肥	
11月	追肥・棚設置	
12月	収穫・千切り大根干し・出荷	
平成23年 1月	収穫・千切り大根干し・出荷	
2月	収穫・千切り大根干し・出荷	
3月	収穫・千切り大根干し・出荷	



千切り大根の様子

～2年目を振り返り～

- ・この品種は、成長が早く安定した品質の大根の生産が可能となった。
また、まっすぐに成長するため、大根を千切りする際の作業効率が上がった。
千切り大根の価格に大きく影響する、白色の強い大根の生産に成功し、品質の良い大根に仕上がった。

～来年への課題～

- ・費用は若干かかるが、「耐病総太り」が品質、作業効率共に効果的であった。
今後は、この品種で作付を行っていきたい。

《今後の取組み》

この2年間で、大根の収量も上がり100万近い販売額が増額になったため、裏作で飼料作物しか生産していなかった地域農家へ、研修等を通して普及していった結果、千切り大根を生産する農家が増えていった。今後も地域農家への研修等を行い、安定した収入を得られる千切り大根の普及に寄与していきたい。

●事業の概要

平成21年度	耕作放棄地再生利用緊急対策事業 施設等補完整備・・・農道整備 経営展開・・・実証ほ設置 加工品試作
平成22年度	耕作放棄地再生利用緊急対策事業 土壌改良・・・追肥等